

高等学校令和7年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史探究

教科： 地理歴史 科目： 世界史探究 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組～6組：北爪 充）

使用教科書：（ 高等学校 世界史探究 （第一学習社） ）

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】現代世界の地域的特色と世界や日本の歴史の展開に関して理解する。さらに調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】歴史や地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】歴史地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。多面的・多角的な考察や深い理解を意識し、涵養させ、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○歴史の大きな枠組みと展開にかかわる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解している。 ○諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	○歴史の枠組みと展開に関わる事象の意味や意義を考える。時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目させる。特色や概念などを活用して多面的・多角的に考察する。歴史にみられる課題を把握し、解決を視野に入れて構想している。 ○考察・構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論している。	○歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究する。 ○多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される自立や自覚を醸成できている。の歴史に他国の国情や文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	1 多様性は歴史の定石	①人類どのように進化し、どう環境に対応してきたか考える。 ②世界各地の政治・経済・社会・文化について、環境や背景の違いに着目しながらどう変化してきたか考える。	【技能】諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまあげ、その様態や違いについて理解できる。 【判断力】歴史的な特質について、時代ごと、地域ごとに相違点が見られることを判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】歴史に対する認識を現代社会を関連付けて学習に取り組むことができる。	○	○	○	6
	中間考査			○	○		1
	2 多面的・多角的な物流の歴史	①世界各地の結びつきがどのような形態や状況で発展していったのか考える。 ②世界の物流や貿易をその背景や意義を通して、どうかかわり、現代社会にどう影響を与えているのか考える。	【思考力】遊牧民が物流の担い手となったことを調べ、検証し、思考することができる。 【判断力】物流が促進していく中で世界的な商業圏がどう変化していったのか判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】毎授業の振り返りなどを通して、見直しをもって学習に取り組もうとしている。		○	○	10
	期末考査			○	○		1
2 学期	3 植民地支配	①世界各地で行われた植民地支配の歴史的意義を考え、植民地支配の共通点を考える。 ②現代社会における旧宗主国と影響がどの程度反映しているのか、各国の状況を比較しながら検討する。	【知識】旧宗主国と植民地化された地域を理解し、把握できる 【思考力】旧宗主国と植民地化された背景や意義を理解し、現在その状態がどのような関係性を持って居るのか思考できる。 【主体的に学習に取り組む態度】植民地化された地域の現状を主体的に調べ、検討することができる。	○	○	○	10
	中間考査			○	○		1
	4 議会政治	①各国における議会政治の誕生やその背景、その後の発達について考える。 ②議会政治の利点を上げつつ、欠点や短所を取り上げ、議会制民主主義の意義を考える。	【判断力】議会政治の成り立ちや各国の議会政治について詳細に調べ、その総てを判断できる。 【表現力】議会政治が民主政治を崩壊させることもあることやこれからの議会政治がどう展開していくのか表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】自主的に議会政治についてのあり方を学び、主権者としてどう行動すべきか自分なりに考えることができる。		○	○	12
	期末考査			○	○		1
3 学期	5 開発と技術	①科学の発達の中で人類に影響を与えたものの功罪を検証する。 ②開発が果たして人類に良き面だけを提供していったのか、事例を取り上げ検討する。	【技能】開発と技術の歴史をそのツールがどう生かされ、またどう悪用されたかについて、プレゼンを行うことができる。 【思考】その開発がなぜ必要で、その技術が様々な方面で使用されていることなどを思考できる。 【主体的に学習に取り組む態度】今後の技術の変化・改善、開発に伴う自己自身の考えなど一つの軸として築くことのできる態度を養う。	○	○	○	4
	学年末考査			○	○		1
							合計 47